

氏名	藤 本 清 一
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博乙第2963号
学位授与の日付	平成8年3月25日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第4条第2項該当)
学位論文題目	Urinary Pyridinoline and Deoxypyridinoline in Healthy Children and in Children with Growth Hormone Deficiency (健常小児および成長ホルモン分泌不全児における尿中 ピリジノリンとデオキシピリジノリン)
論文審査委員	教授 産賀 敏彦 教授 太田 善介 教授 井上 一

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

健常小児の骨代謝回転を把握するために、3～14歳の健常小児192名について、骨吸収マーカーである尿中ピリジノリン(PYR)およびデオキシピリジノリン(DPYR)を測定した。尿中PYRは、3～5歳では健常成人の約10倍の高値を示し、加齢とともに低下していった。男児では10歳より再び上昇し、12歳でピークがみられ、以降低下していった。女児では11歳以降急速に低下していった。尿中DPYRも同様の変動を示した。

さらに成長ホルモン分泌不全児17例について成長ホルモン投与に対する反応を検討した。投与開始後2-3カ月で、尿中PYRおよびDPYRは投与前の約1.3倍を示した。

小児では成人よりも骨吸収が亢進しており、尿中PYRおよびDPYRは成長の著しい思春期に高値をとること、および成長ホルモンが骨吸収をも亢進させることが示唆された。

なお、本論文は共著論文であり、共著者の協力を得て完成したものである。

論 文 審 査 結 果 の 要 旨

本研究は、小児における骨代謝に関する研究であるが、骨吸収マーカーとしてピリジノリンおよびデオキシピリジノリンの尿中排泄量を測定して小児の骨代謝回転の有用な指標となることを明らかにし、小児における骨代謝の特徴及び成長ホルモン投与の影響に関して重要な知見を得た価値ある業績であると認める。

よって本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があると認める。